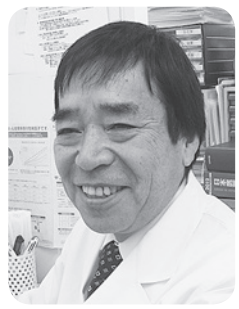
組織現勢（4月1日現在）
組合員数　20,346人
出資口数　134,383口
2・3月の新規加入　47人
2・3月の増資口数　818口
No. 424

城南の保健

発行所
城南保健生活協同組合
本部事務局　大田区大森東4-6-15-101
TEL（3762）0266
振込銀行　さわやか信用金庫大森支店
口座（普）0469459
発行　「城南の保健」編集委員会
年6回発行・定価1部　30円

区民健診・がん検診のすすめ

ゆたか診療所所長　権守光夫



区民健診

40歳以上の対象者（国民健康保険・後期高齢者医療保険・生活保護の区民健診）には、受診券が送られてきます。期間がありますので注意して下さい。

血液・尿・心電図・眼底が基本で、大田区は胸部X線付きです。品川区は、65歳以上は無料の「結核検診」で胸部X線ができます。高血圧症・糖尿病・脂質異常症と、貧血・肝臓・腎臓・尿酸がチェックできます。

がん検診

2016年の「がん登録推進法」により、全国で新たに癌と診断された集計が、昨年1月に厚生労働省から発表されました。初めての試みで、2016年に新たに癌に罹患した人は99万5132人、男性56万6575人、女性42万8499人（性別不明58人）です。よって1年間の癌の罹患率は、男性0・92%、女性0・66%ですが、高齢になるほど増え、70歳代では3%、80歳代では4%を超えます。

部位別では図の通りですが、男性では40歳以上では消化器系の癌（胃・大腸・肝臓）が多く、70歳以上では前立腺癌・肺癌が増加します。女性では40歳代では乳癌・子宮癌・卵巣癌が多く、高齢になると消化器系の癌が増加してきます。

一方、年は違いますが、2018年に癌で死亡した人は37万3584人、男性21万8625人、女性15万4959人ですから、癌罹患者の38%の死亡率です。やはり癌は怖い病気ですが、検診で無症状のうちに見つかる方が予後が良いので、検診で早期発見に努めましょう。

最多の大腸がん検診は、便を2回取る「便潜血反応」が40歳以上でできます。受診者の1%位に癌が見つかりますが、内視鏡的切除が可能な癌が多いです。

胃がん検診は、バリウムか内視鏡です。

肺がん検診は、40歳以上で、胸部レントゲン二方向撮影です。

男性では前立腺癌が2位、女性では乳癌が新たな罹患の1位ですが、前立腺は血液でのPSA検診、乳癌はエコーやマンモグラフィーなどのコースがありますので、詳細は区報を見て下さい。

なお、がん検診は、保険の種類に関係なくできます。

2016年に診断されたがんの部位別患者数

	男女計	男	女
①	大腸 15万8000人	胃 9万3000人	乳房 9万5000人
②	胃 13万5000人	前立腺 9万人	大腸 6万8000人
③	肺 12万6000人	大腸 9万人	胃 4万2000人
④	乳房 9万5000人	肺 8万4000人	肺 4万2000人
⑤	前立腺 9万人	肝臓 2万8000人	子宮 2万8000人

（厚生労働省による）

城南福祉医療協会の各診療所でも受けられます

特定健診・長寿健診（後期高齢者健診）がはじまります

大田区特定健診・品川区国保基本健診

対象　40歳～74歳で大田区・品川区の国民健康保険加入者
国民健康保険以外の方は加入している保険者にお問い合わせ下さい（国保以外は負担金が発生する場合があります）。

期間　品川区は受診券到着日～1月末日
大田区は5月下旬ごろ発表

大田区長寿（後期高齢者）健診・品川区後期高齢者健診

対象　75歳以上で大田区・品川区の後期高齢者医療証をお持ちの方

期間　品川区は受診券到着（または75歳の誕生日以降）～1月末日まで、大田区は5月下旬ごろ発表

★受診票（券）・保険証をお持ち下さい。
★社会保険加入の家族の方は、加入する保険者から受診票（券）を取り寄せて下さい（負担金が発生する場合があります）。

組合員さんの声

●地元のみんなが安心して暮らせる診療所、スタッフの皆さんやさしいです。（76歳・女性）

●1月12日の「新春生田緑地ハイキング」はとっても楽しかったです。「日本民家園」を見学できなかったのは残念。時を見つけて行ってみよう。（79歳・女性）

●信じられない世界的パンデミック、新型コロナウイルスによる肺炎、日本は後手後手で私たちの生活は大丈夫でしょうか…。ストレスと我慢の限界ですね。早く治療法を見つけて救ってください。（50歳・女性）

●どこを探してもマスクは入手できず、新型コロナウイルスの感染が予想以上に広がり、不安でいっぱいです。早く収まってほしいものです。（54歳・女性）

●「城南の保健1・2月合併号」の「腹八分」の意見に同感です。日本の政治を変えてほしいです。（63歳・女性）

●子育ても一段落。仕事もそんなにガツガツやらなくてもよくて、組合員さんのイベントに積極的に参加しようにも、若いから働きに出てきなさいと言われ、モヤモヤしている今日この頃です。（46歳・女性）

※第26回パズルは次号に掲載いたします。

第25回パズルの答え
みみかき

当選者（応募数26）大野孝・宇田光子・大塚志保子・白井弘・水地晶子

世界的に流行する新型コロナウイルス感染症ですが、心配な時はその症状に応じて、下記の窓口へご相談ください。

「風邪のような症状」「37.5℃以上の発熱がある方」
一般の方：症状が４日以上続く場合
高齢・基礎疾患がある・妊婦の方：症状が２日程度続く場合
「強いだるさや息苦しさ」がある方は
受診前に必ずかかりつけの診療所に電話連絡をお願いします。

かかりつけ医のいない方
新型コロナ受診相談窓口（帰国者・接触者相談センター）へ
平日：午前９時～午後５時（各自治体へ）
大田区：大田区保健所　電話：03-5744-1360
品川区：品川区保健所　電話：03-5742-9105
土日祝・夜間は　電話：03-5320-4592

微熱や軽い咳が出ている、
感染したかもしれないと不安な方は
新型コロナコールセンターへ
午前９時～午後９時（土日祝含む）　電話0570-550571

その他、住居や賃金、労働問題などそれぞれ相談窓口があります。

新型コロナウイルス感染予防のために日常生活で気を付けることは…
- 石けんやアルコール消毒液などでこまめに手洗いをする。
- 正しいマスクの着用と咳エチケット
- 持病がある方やご高齢の方は、できるだけ人ごみの多い場所を避けるなどより一層ご注意ください。

新型コロナウイルス感染症にともなうイベント等の中止・延期のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、下記のイベント等を中止（または延期）します。申し訳ありませんが、よろしくお願い申し上げます。お問い合わせは生協本部へ（03-3762-0266）

中止
5月15日　グリーンコンサート2020「アンデスの風」グルーポ・カンタティ
5月29日　憲法こそたからものPart3

延期（詳細は決まり次第お知らせします）
5月17日　春の健康バスハイク　秋ごろに延期
3月20日　映画『あの日のオルガン』上映会　9月18日に延期

腹八分

今年の桜は、新型コロナウイルスの世界的な流行で花見の自粛が呼びかけられ、見物人のまばらな中、例年よりも長く花を付けていました。鳥がやってきて花弁をついばむ光景をいつもより丁寧に観察できました。今はタンポポが鮮やかな黄色の花を咲かせ、ツツジが開花を準備しています▼公園を歩いていると普段の平日には見られなかった光景に出会います。現役世代の若い父親と、就学前後の子どもが連れ立って遊んでいます。新型コロナウイルスの感染を恐れて、学校も職場も閉鎖が広がっています。学校に行けない子ども、職場に行かれない父親。母親と違って家に居場所のない父親。そのことが公園に足を向けさせるのでしょう▼父親と子ども、あるいは祖父母と孫が公園で過ごしている光景は微笑ましい。しかし、その背後には恐ろしい現実が立ちはだかっている。今大切なことは、新型コロナウイルスによる感染を食い止めること。そして、経済対策をしっかり打ち出すこと。個人営業の製造業者、個人商店の経営者、さらに格差社会の広がる中で、非正規で働く多くの人びとが、不安を抱きながら事態を見つめています。救済を必要としているのはこういう方々です。政府も自治体も、何かというと予算がないことを理由に給付を渋ります。しかし、国にも自治体にも、不要不急の公共事業という名に隠れた、無駄な開発に資す積立金は十分にあります。未曾有の事態に直面している今は、政治の姿勢を変える絶好のとき。今こそ国民本位の政治を！